

TechRadar Scopeと本公開ツールの違い

2018年04月

VALUENEX
www.valuenex.com

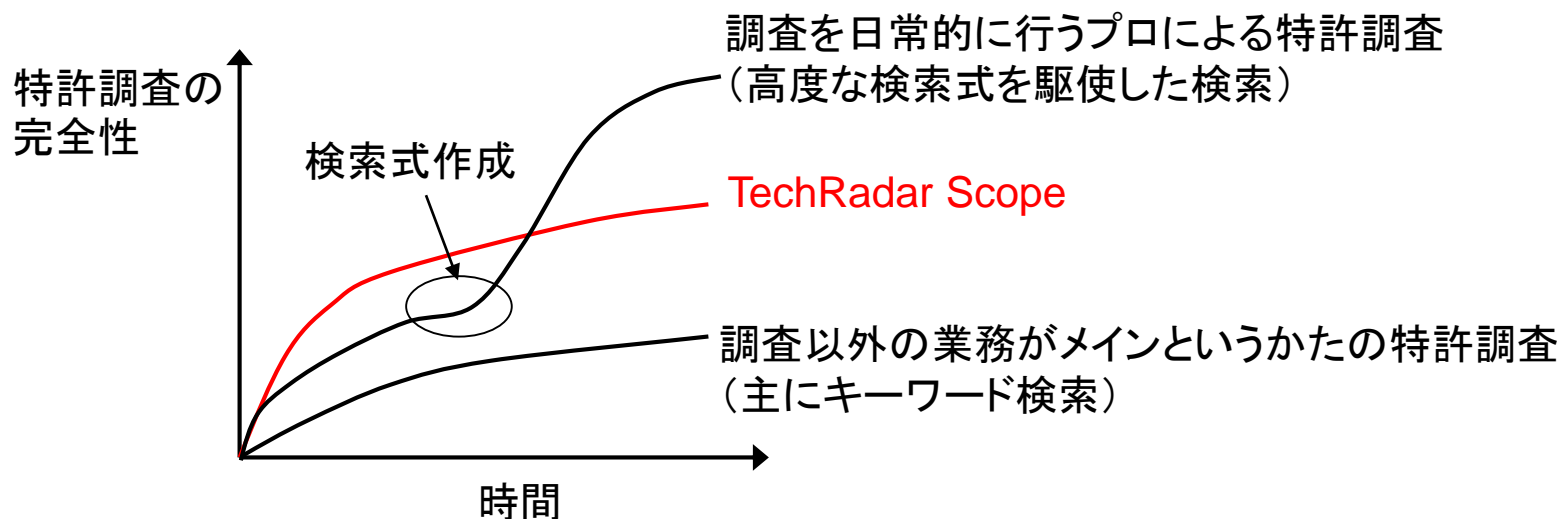
TechRadar Scopeと本公開ツールの違い

- 本公開ツールは有償サービス「TechRadar Scope」の一部機能です。主に下記のような違いがあります。
- 次ページ以降、TechRadar Scopeの説明資料となります。

機能	TechRadar Scope (有償)	本公開ツール
特許番号検索	○	○
文章検索機能	○	○
ダウンロード機能	○	×
検索・可視化解析可能な文献数上限	1,000件	100件
検索結果を基にした検索条件の修正	○	×
可視化結果(俯瞰図)の共有機能	○	×
検索・可視化解析履歴の保持・表示	○	×
検索・可視化解析対象(全文or要約請求項)の選択	○	×(全文のみ)
年範囲の設定	○	×
書誌情報による絞り込み	○	×
特許文献リストのアップロード・可視化解析	○	×

TechRadar Scopeについて

特許調査の効率化、R&Dアイデア発想等の支援ツール



(参考)他者からの評価コメント「R&D効率アップのための特許情報活用」, 桐山勉 等, 第5回情報プロフェッショナルシンポジウム予稿集

- ブーリアン検索の難しい点は、①特許分類コードを正しく解析して、②適切な検索式を作成する所である。エンドユーザーにとってはこの①と②は時間を掛けても難しく、ベテラン・サーチャーの倍の時間を掛けたら誰もができるというものでない。(中略)新しい効率的な手段の開発が望まれている。その一つとしてKW次元数が極端に多く扱える多次元解析も一つの候補となりうることを(中略)XLUS(現 TechRadar Scope)で確認した。
- XLUSのレーダ図は、ブーリアン検索の死角、つまり、ブーリアン検索では得られない周辺の類似特許を見つける代替検索エンジンとして、時間も掛からず役立つ手段になると判断する。
- XLUSは情報共有化を目指す手段として特に有効と判断する。類似の周辺特許群を発掘するToolとして、研究開発のヒント情報を発掘するToolとして有効と考える。

機能: 分析フロー

数十秒

入力

検索

可視化・分析

① 技術内容を表した文章

3次元形状データを利用した補聴器用シェル製造方法において、最適なシェル形状決定を容易にすることができる造形用シェル形状データ作成方法を提供する。【解決手段】装用者の耳穴の形状を3次元計測して得られた耳穴形状データをコンピュータに取り込む。耳穴形状データを3次元形状処理ソフトウェア上で変形処理して補聴器用シェルの製造用形状データを作成する工程において、前もって、内蔵部品そのままの部品形状CADデータに部品と耳穴形状データとの間に必要な隙間分を付加した部品干渉確認用CADデータを作成しておき、シェル形状決定のためのシェル内部のシミュレーションに利用して、シェル形状データを作成する。

(最大52万文字入力可能)

② 特許番号

P2007-28248A

(データベースより該当特許を検索し、その要約請求項、もしくは明細全文を自動的に検索値とする)

③ 特許番号リスト

P2007-28248A
P2005-15248A
...

(当該リストに含まれる特許だけで可視化。類似特許間の関係性を細かく調べる際に利用する。)

概念検索
+ 書誌情報絞込

(データベース収録特許文献全てに対して、要約請求項、もしくは明細全文と、入力した検索値が類似するかを評価し、スコアが高いものから最大1,000件を収集)



活用方法(例)

- 技術シーズ探索と周辺技術の調査
- 開発・知財部門における出願前調査
- アライアンス候補の探索 等

機能: 入力・検索

特徴1: 検索式は不要で、簡単な操作で入力・検索。

新しい分析を作成

● 母集回作成 ● 分析

分析名

名前

▼ 概念検索

概念検索対象

テキスト

検索クエリ

何を分析しますか?

ANDキーワードを指定。複数のキーワードを指定する場合は改行をいれてください。

DENYキーワードを指定。複数のキーワードを指定する場合は改行をいれてください。

検索対象

全文

収集件数上限 最大1,000件

300

「技術内容を記述した文章」や「特許番号」を概念検索クエリーとして記載。

最大1,000件まで

書誌情報で絞り込む

検索式が使えます

タイトル

出願人

発明者

IPC

単項IPC分類のみ使用

分析オプションを指定

年の範囲

1993 2017

▶ 特許リストアップロード

パッケージ

Scope-JP-A (日本国公開特許公報 最大1,000件)

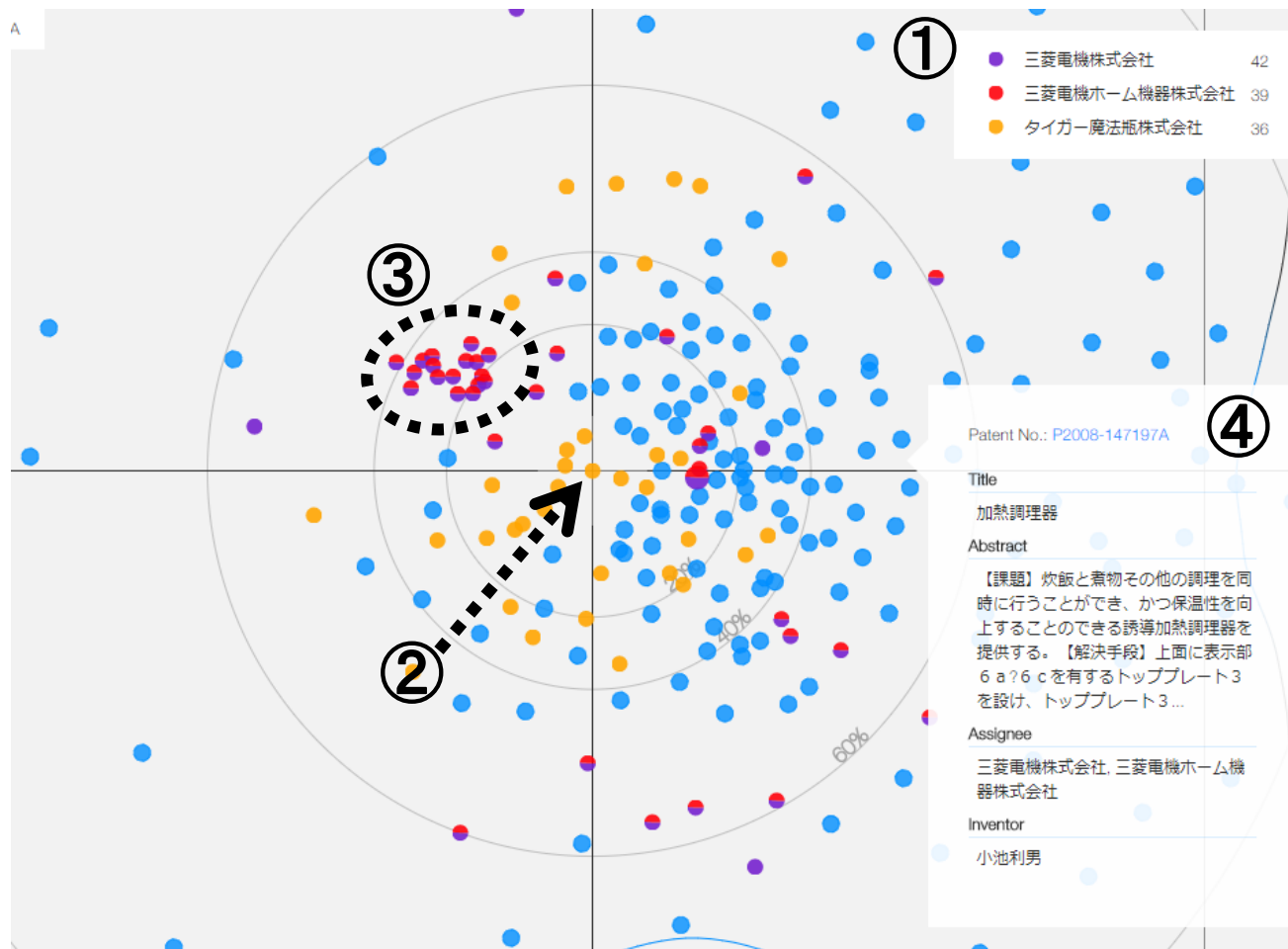
分析

概念検索した結果に対して、書誌情報による絞り込みを行うことが可能。

特許番号リストを作成し、システムにアップロードすれば、当該リスト内に含まれる特許だけを可視化。類似特許間の関係性を細かく調べる際に利用。

機能: 可視化・分析

特徴2: 高速に(数秒~数十秒)、レーダー図(俯瞰可視化)を作成。



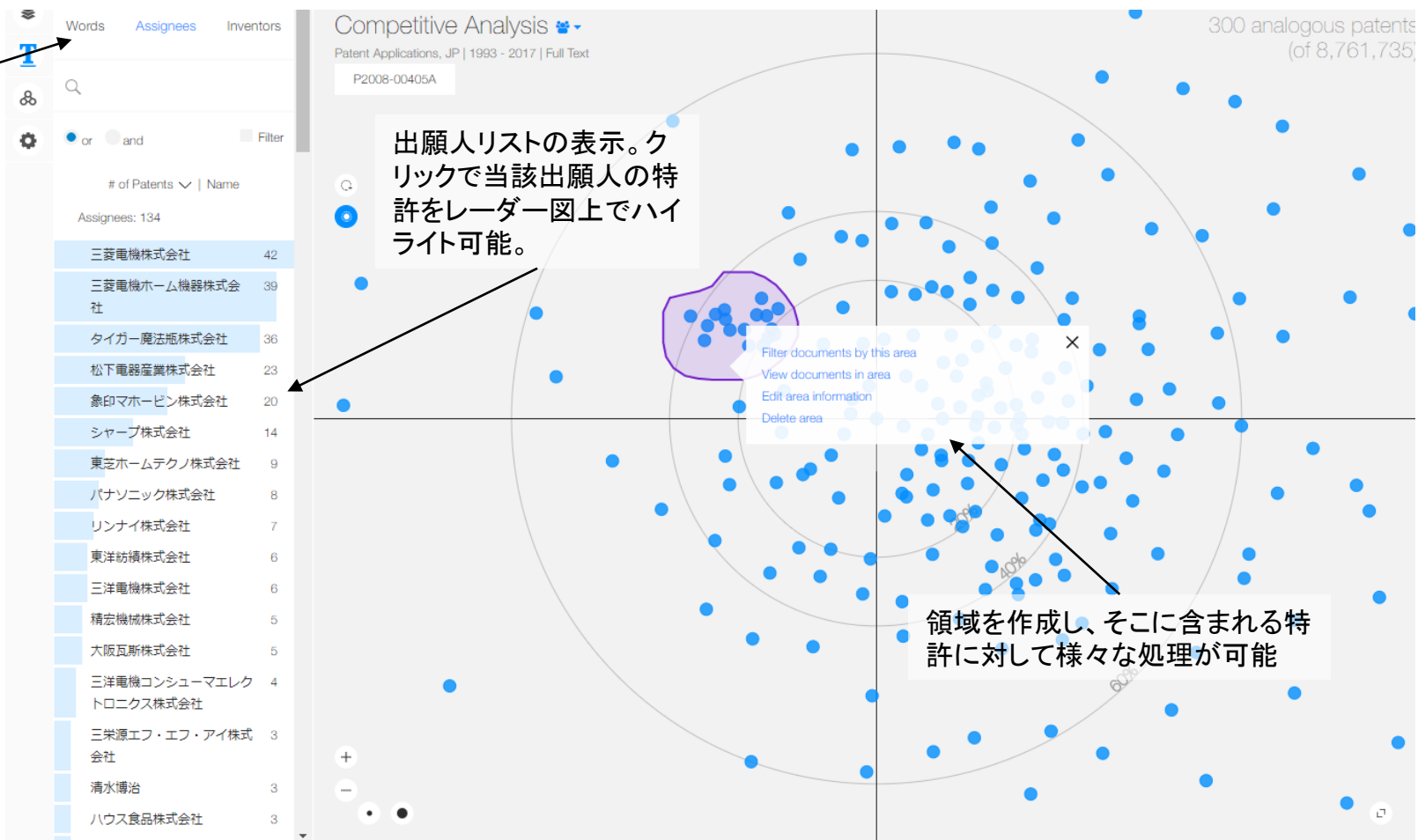
- ①出願人別に色分け表示可能。
- ②検索値と類似するほど中央付近にプロット。
- ③類似性が高い文献同士は密集配置。
- ④クリックすると特許内容を表示。番号をクリックすると明細文(図)を表示。

中心付近にプロットが少ない程、検索された技術は独自性が高い可能性がある。反対に、プロットが密集していると、開発が盛んであり、かつ、複数の会社が参加していると競合関係に注意する必要がある。

機能: 可視化・分析

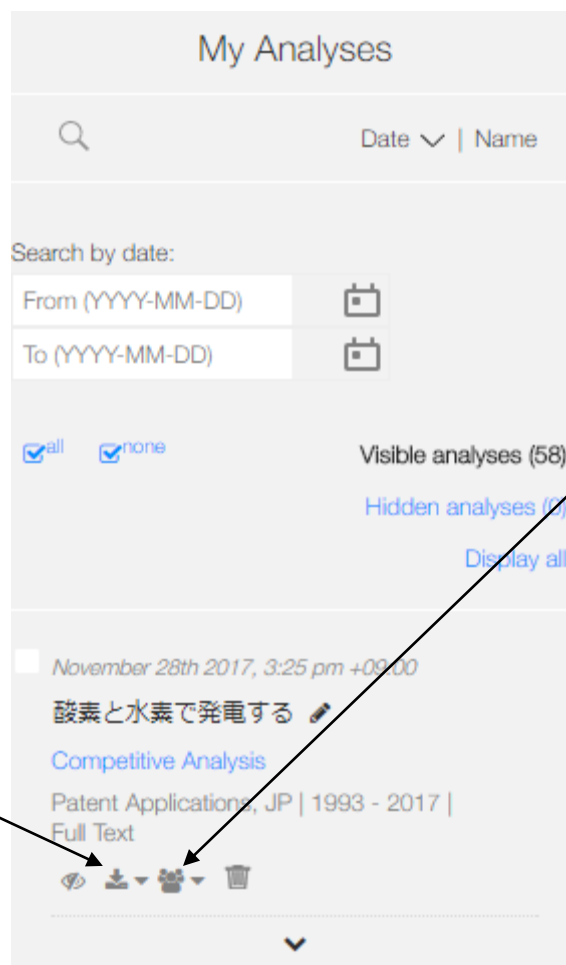
特徴3: 便利なUIで様々な角度から分析が可能。

母集団の中で、多用されている語のリスト。



機能:可視化・分析

特徴4:レーダー図の共有／データダウンロードが可能。



URLを共有すれば、IDを持たない方も閲覧可能

レーダー図(座標等)、特許リスト等をダウンロード可能

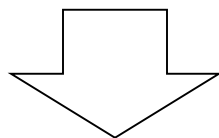
機能:まとめ

特徴1: 検索式は不要で、簡単な操作で入力・検索。

特徴2: 高速に(数秒~数十秒)、レーダー図(俯瞰可視化)を作成。

特徴3: 便利なUIで様々な角度から分析が可能。

特徴4: レーダー図の共有／データダウンロードが可能。



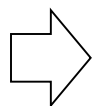
特許調査の効率化、アイデア発想支援

+

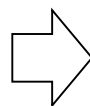
知財・研究開発部門のコミュニケーション円滑化・活性化

活用事例1: 技術シーズ探索と周辺技術の調査

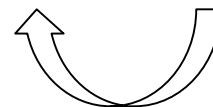
自社／他社の技術
シーズを検索



関心の高い技術シーズ
をピックアップ



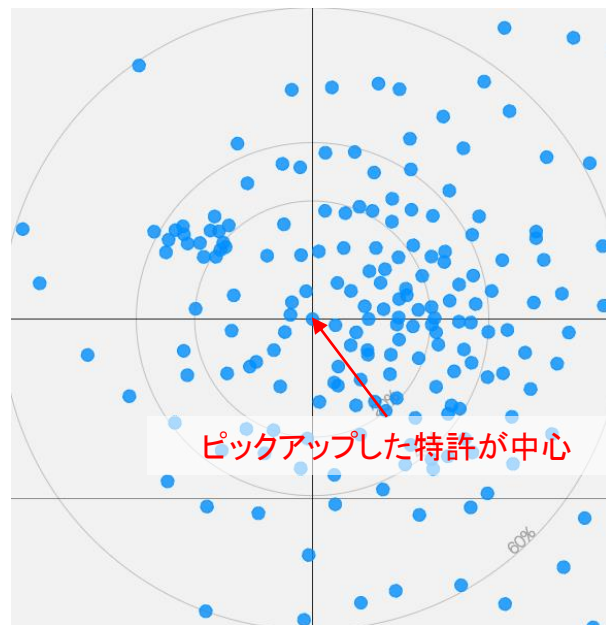
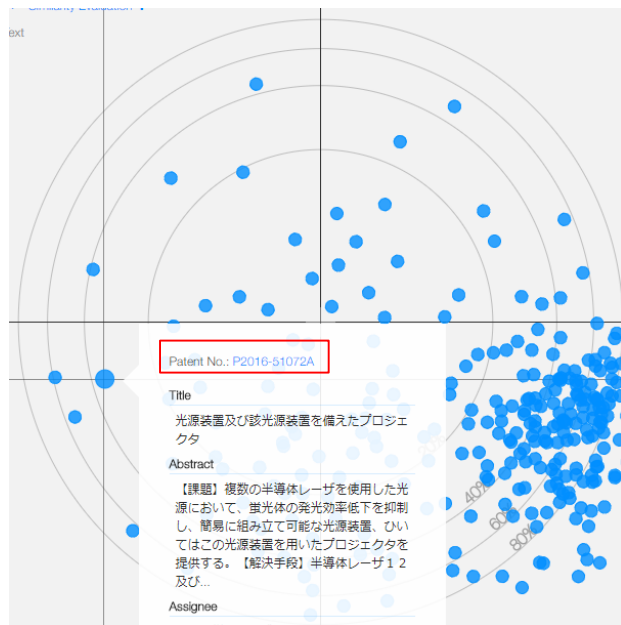
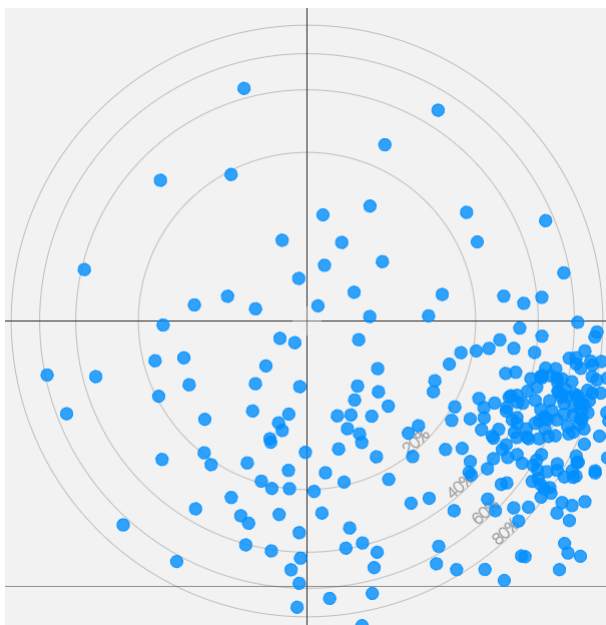
ピックアップした技術シーズ
の周辺技術を調査



繰り返して実施
(スパイラル調査)

例: 「半導体レーザ」で概念検索し、出願人: 日亜化学で絞込み

関心の高い技術の特許番号で
再度概念検索を実施



ピックアップした特許が中心

活用事例2: 研究開発・知財部門における出願前調査

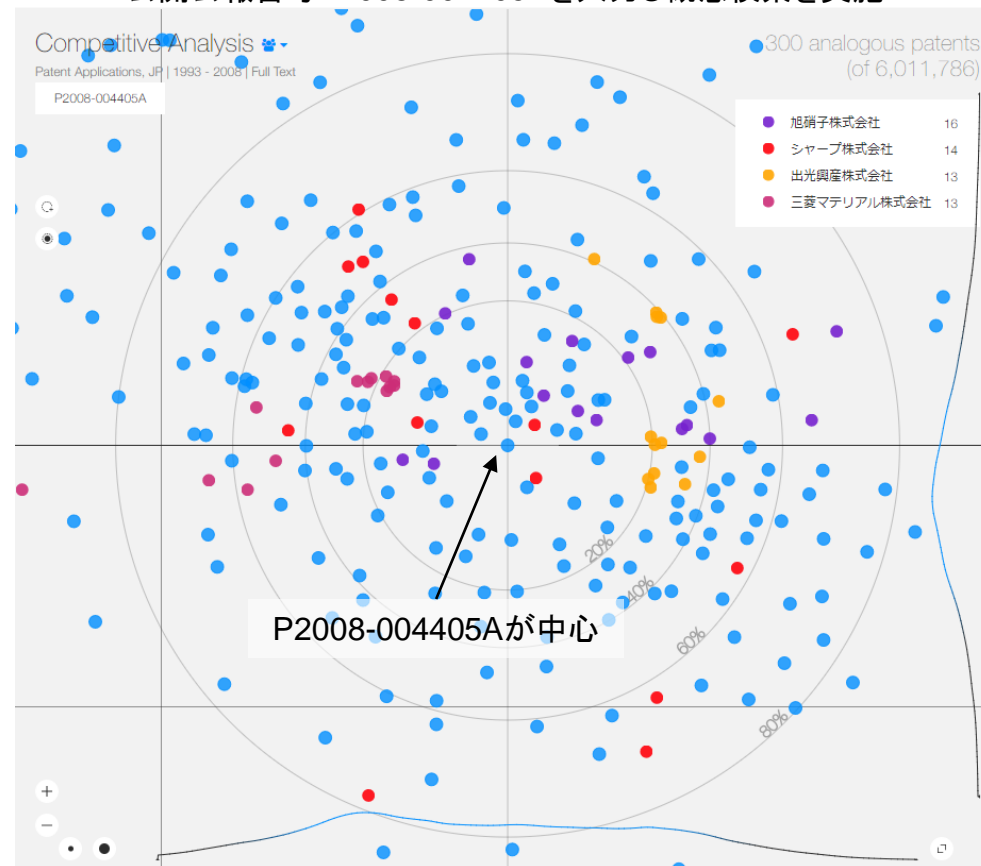
アイデアのブラッシュアップに活用。



活用事例3: アライアンス・顧客候補の探索

例: 産業技術総合研究所が開発したフラットパネルディスプレイ、太陽電池で使う「透明電極の形成方法」(特開2008-004405)

公開公報番号P2008-004405Aを入力し概念検索を実施



近い周辺特許や出願人リストから、アライアンス・顧客候補の仮説作りが可能である。

例: 出光興産、三菱マテリアルよりも、旭硝子、シャープの方が対象特許により近い技術開発をしている可能性がある。

お問い合わせ先

VALUENEX株式会社 カスタマーサービス
customer@valuenex.com

〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-16 ツインヒルズ茗荷谷
www.valuenex.com